

11th May, 2015

artless Inc.

Contact: 田中智子

Email: info@artless.co.jp



グローバルに活躍するデザイン・コンサルタンシー「artless Inc.」  
ウェブのアカデミー賞と称される「ウェビー賞」を受賞！

デザイン・コンサルタンシーartless Inc. が企画・ディレクションを手がけたウェブサイト『10 SOUNDS OF LIFE SCIENCE』\* が、ウェブのアカデミー賞・インターネット界で大変高い名誉のある賞と称される「第19回ウェビー賞 / ベスト・コーポレート・コミュニケーション・ウェブサイト (The 19th Annual Webby Awards / Best Corporate Communications Website)」を受賞いたしました。

「ウェビー賞」は、アメリカの国際デジタル芸術科学アカデミー (IADAS) より優れたウェブサイトにも贈られる国際的な賞です。1994年から実施されており、部門賞は全部で100以上、ニューヨークタイムズでは「インターネット界で大変高い名誉のある賞」、「ウェブのアカデミー賞」ともいわれています。

第19回である今年は世界60カ国、13,000件のエントリーの中から各カテゴリーの優秀な作品が選ばれ、artless Inc.が企画・ディレクションを手がけた『10 SOUNDS OF LIFE SCIENCE』が受賞いたしました。

\*『10 SOUNDS OF LIFE SCIENCE』は、協和発酵キリン株式会社のフィロソフィーを、10の視点から、10のアーティストとともに、10の音楽につむぐプロジェクトです。

第一線で活躍する全10組のアーティストが、テーマに沿った楽曲をsound cloudで公開、音楽への想いを引き出したインタビュー映像をYouTubeで公開し、大きな反響を呼びました。

音楽・動画の共有サービスを活用した本コンテンツは、SNS・各媒体で次々と拡散され、より多くの方々にお楽しみいただける新しいブランドコミュニケーションのかたちをつくり上げました。

『10 SOUNDS OF LIFE SCIENCE』

[http://www.kyowa-kirin.co.jp/10\\_sounds/](http://www.kyowa-kirin.co.jp/10_sounds/)



# 10 SOUNDS OF LIFE SCIENCE

10の視点から、10のアーティストとともに、10の音楽につむぐプロジェクト

PRESENTED BY  
KYOWA KIRIN

## 『10 SOUNDS OF LIFE SCIENCE』

[http://www.kyowa-kirin.co.jp/10\\_sounds/](http://www.kyowa-kirin.co.jp/10_sounds/)

企画・クリエイティブディレクション：artless Inc.

アートディレクション・アーティストキュレーション：川上シュン

参加アーティスト（テーマ）：

渋谷慶一郎（バイオテクノロジー）

no.9（リサーチパーク）

STUDIO APARTMENT（ビジランス&クオリティ）

JEMAPUR（精算技術）

DJ KAWASAKI（オープンイノベーション）

blanc.（グローバル・スペシャリティファーマ）

Open Reel Ensemble（拠点）

i-dep（アンメット・メディカルニーズ）

高木正勝（抗体医薬）

蓮沼執太+コトリング（私たちの志）

企画／クリエイティブディレクション

---



artless Inc.

“artless”は、東京を拠点にグローバルに活動するブランド・デザイン・コンサルタンシーです。アートとデザインを基軸に、多様な専門知識や経験を持つスペシャリストと共に、ジャンルやカテゴリーに縛られない活動を続けています。

活動領域は多岐にわたり、ブランディングを中心に、デザイン・コンサルティング、企業やブランドロゴ、広告キャンペーン、グラフィック、ウェブ、モバイル、UI、フィルム、モーショングラフィック、インスタレーション、ディスプレイ、ショーウィンドウ、ホテルやブティック、ミュージアム等のインテリア、サインデザイン、エキシビションやイベントの企画プロデュース等。

東京を拠点としながらも、グローバルに活動し、クライアントワークのみならず、エキシビションの主催や参加、アートワークの出品やインスタレーション、アーティスト・キュレーション等といったアート活動も精力的に行っています。

そのジャンルに縛られない横断的な活動は、カンヌ国際広告祭(金賞)、NY ADC : Young Guns、NY TDC、The One、Show、D&AD、London International Award iF designaward、DFAA (Hong Kong)、Tokyo TDC、グッドデザイン賞、Tokyo Interactive Ad Awardの受賞等、国際的評価を受けています。

<http://www.artless.co.jp/>



川上シュン

1977年、東京都江東区深川生まれ。artless Inc. 代表。「アートとデザインの中間的表現」という自身の思想のもと、安土桃山時代を中心とする水墨画、障壁画、茶の湯、生花、盆栽、作庭、建築など、高度に洗練された「日本独自の美的理念」へ回帰しながらも、現代の「デザインの思考」との融合により生まれる、新たな美の形成を追求している。

グラフィックアーティストとして活動する一方、代表を務める“artless Inc.”は、東京を拠点にしながらも、グローバルに活動する「ブランド・デザイン・コンサルタンシー」であり、アートとデザインを基軸に、ブランディング、デザインコンサルティング、企業やブランドロゴ、広告キャンペーン、グラフィック、ウェブ、APPS、UI、映像、モーショングラフィック、インスタレーション、エキシビション、インテリア、サインデザイン、そして、建築まで、多様な専門知識や経験を持つスペシャリストと共に、ジャンルやカテゴリーに縛られない活動を続けている。

2000年、“artless”として独立し「+81 magazine」等のグラフィックデザインを中心に活動をスタート。

2008年、世界中の30歳以下の優れたアートディレクター50名を選出する「NY ADC: Young Gun 6」を受賞、翌年の2009年は審査員も行い、同年、日仏交流150周年記念事業として経済産業省が主催するパリ・ルーブル宮のフランス国立装飾美術館「KANSEI」展に選出されアートブックを制作展示。

2010年にはフィンランドのテレビ局（ch4）の為に制作した映像作品が、「カンヌ国際広告祭」（Cannes Lions International Advertising Festival）で金賞を受賞。同年、ロンドンを拠点に“Yellow Pencil”の名で親しまれ、デザインと広告における独創性を促し支援する「D&AD賞」も受賞。

2011年年始、新宿伊勢丹のショーウィンドウ/VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）を担当。本館とメンズ館の計21面に及ぶウィンドウと、本館一階「The Stage」のアートディレクション及びグラフィックワークを制作。

2012年、デザイン界におけるオスカー賞を自称し、世界的に最も権威のあるデザイン賞の一つ。ドイツ・ハノーファーを拠点とするアワード「iF: International Forum Design Hannover (Germany)」を受賞。同年、CREATIVITY INTERNATIONAL AWARDS: 41st annualも受賞。

2013年、ONE SHOW DESIGN (NY) ゴールドペンシル/金賞、アジアを代表するデザインアワード「DFAA – Design For Asia Award 2013 (Hong Kong)」を受賞し、また、国内でも、東京TDC、グッドデザイン賞、SDA AWARDS 2013、DSA Award – Japan Design Space Association Award (GOLD PRIZE – 日本空間デザイン賞/優秀賞) と、国際アワードにおいて多数の受賞歴を持つ。

2014年、H&M Kyotoのオープニングアーティストに選出されグラフィックアート作品を制作。大胆に日本的な要素を取り入れながら、適度な距離感が保たれ、独特の美意識が感じら、アートとデザイン領域を自在に行き交う活動は、自身の感性と時代の流れに従い、有機的な展開を見せている。

国内外でのカンファレンス、エキシビション、フェスティバルにも多数招待され、ポンピドゥー・センター（パリ）、ルーブル宮内フランス国立装飾美術館、クアラルンプール国立美術館、ミラノサローネ、TENT LONDON、DMY（ベルリン）、BODW（香港）、シンガポールデザインフェスティバル、ソウルデザインフェスティバル（韓国）、上海デザインビエンナーレ等、グローバルな活躍が目覚ましい。

<http://www.shunkawakami.jp>

<http://www.artless.co.jp>

本サイトは、アーティストをご紹介する「10 ARTISTS」、楽曲のテーマをご紹介する「10 THEMES」、アーティストの10つの名言をまとめた「100 AMBITIONS」で構成されます。

「10 ARTISTS」

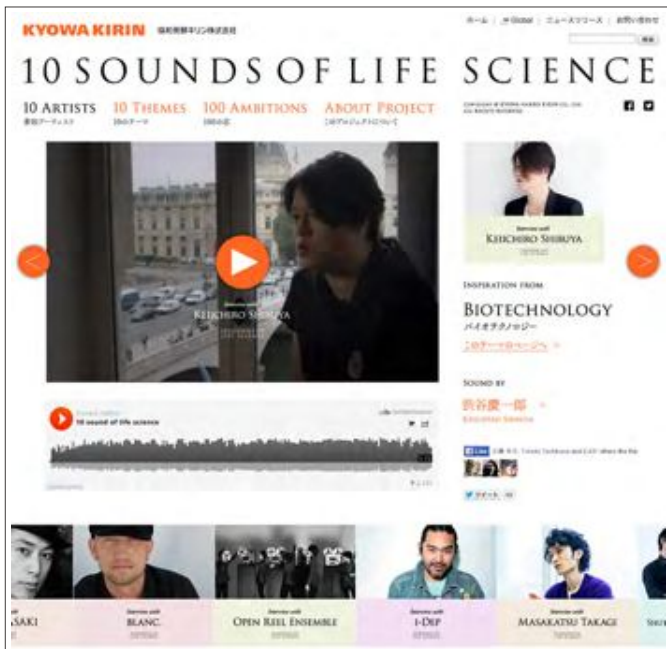
アーティストが書き下ろした新曲をSound Cloud上で無料視聴、1ヶ月の期間限定で無料ダウンロードいただけます（全曲ダウンロード期間は終了しました）。また楽曲制作にまつわるメイキング、インタビュー映像をYouTube上で配信しております。

「10 THEMES」

各楽曲のテーマについて詳しい内容を掲載しています。

「100 AMBITIONS」

インタビューから導きだされたアーティストの「10の言葉」を公開、気に入った言葉をクリックするとSNSでシェアできる仕組みです。



「10 ARTISTS」：新曲の視聴、インタビュー映像をご覧いただけます。



「10 THEMES」：各テーマの詳細をご紹介します。



「100 AMBITIONS」：10の言葉をお楽しみいただけます。

1 渋谷慶一郎 × バイオテクノロジー



2 no.9 × リサーチパーク



3 STUDIO APARTMENT × ビジネス&クオリティ



4 JEMAPUR × 生産技術



5 DJ KAWASAKI × オープンイノベーション



6 blanc. × グローバル・スペシャリティファーマ



7 Open Reel Ensemble × 拠点



8 i-dep × アンメット・メディカルニーズ



9 高木正勝 × 抗体医薬



10 蓮沼執太+コトリング × 私たちの志





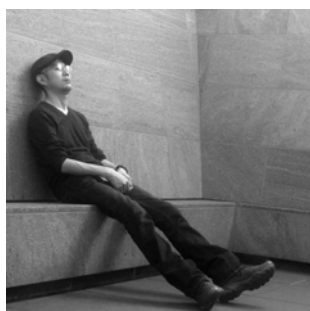
渋谷慶一郎 | Keiichiro Shibuya

音楽家。1973年生まれ。東京芸術大学作曲科卒業。

2002年に音楽レーベルATAKを設立、国内外の先鋭的な電子音楽作品をリリースする。自身のソロプロジェクトに加え、数々の映画音楽制作、音楽プロデュースなど幅広い創作活動を経て、昨年、初音ミク主演による人間不在のボーカロイド・オペラ"THE END"をパリ・シャトレ座で発表して大きな話題に。10月20日には、同じくシャトレ座でピアノとコンピュータによるソロ・コンサートの開催が決定。また、音楽の公開制作をDVDにした最新作"ATAK021 Massive Life Flow"をリリース。現在は東京とパリを拠点に旺盛な活動を展開している。

<http://atak.jp>

---



no.9

「音と共に暮らす」をテーマに日々の暮らしに寄り添う豊かでメロディアスな楽曲を生み出す作曲家・城 隆之のソロプロジェクト。

90年代初頭からサウンド制作・作曲活動を開始し、97年にno.9名義でエレクトロニクスとアコースティックの融合による作品制作を開始。最新作『The History of the Day』が現在も大きな反響を呼ぶなか、『usual revolution and nine』、『Good morning』など7枚のフルアルバム作品をリリース。

体温のある音楽として、TVCMやWeb、映像作品など数々の広告音楽の制作、大手航空会社など主要交通機関のチェックイン端末やオフィス機器など日々進化するテクノロジーと共に多数のサウンドデザインを手がけている。実績と経験に基づく緻密なサウンドデザインと幅広い音楽性を併せ持つ作曲家でもある。

<http://www.nano-graph.com/no9/>

---



STUDIO APARTMENT

日本を代表するダンスミュージックプロデューサー兼DJ。

トラックユニット"STUDIO APARTMENT"として、これまでに9枚のオリジナルアルバム、そして300曲以上のオリジナル曲を世界各国のレーベルからリリース。

世界最大のダンスミュージックダウンロードサイト“beatport”にて、自身の楽曲が「2008年 DEEP HOUSE 部門 年間総合チャート1位」、「2009年 BEST DEEP HOUSE TRACK」を受賞し、アジア人として初の快挙を達成。同じくハウスミュージック最大のダウンロードサイト"Traxsource"にて、これまでに4つのオリジナル楽曲が総合チャートで1位を記録。世界規模で活動してる数少ない日本人アーティストである。

---



JEMAPUR

電子音楽家。

Eerik Inpuj Soundからのリリースを皮切りに、Hydeout Productions, W+K Tokyo Lab., Phaseworksなど様々なレーベルから作品を発表。2013年にはBETAより4thアルバム"SLIDE"をリリース。2014年3月には、Kero主宰のDetroit Undergroundより”MICROSLEEP”をリリースした。近年ではYoung Juvenile Youthとしての活動も知られており、様々な商業ワークやショートフィルム、劇場音楽へ楽曲を提供するなど、活動の幅を広げている。

---



#### DJ KAWASAKI

DJ/リミキサー/サウンド・プロデューサー/作曲家。2005年King Streetより12インチ・シングルで世界デビュー。2006年、コロムビアよりメジャー・デビュー。これまでリリースしたシングルが、iTunesダンス・チャートにて通算8曲連続でNo.1を獲得。Remixを手掛けたRoland AppelのDark SoldierがデトロイトのDJ 3000、ドイツのDJ Hellにプレイされ、アルバム『PARADISE』に収録されたGalactic LoveがJoe ClausellやKarizmaがスピンするなど国際的にも高い評価を得ている。2014年7月『You And The Music Compiled by DJ KAWASAKI』(Selective Records)をリリース。現在、FM NORTH WAVE「You And The Music」(毎週日曜22時～)にてナビゲーターを担当中。ホームグラウンドのThe Room(渋谷)では"MAGiC"のレジデントDJを務めている(毎月第三土曜開催)。

[www.extra-freedom.co.jp/artists/dj\\_kawasaki/](http://www.extra-freedom.co.jp/artists/dj_kawasaki/)

[www.facebook.com/djkawasaki](https://www.facebook.com/djkawasaki)

[www.facebook.com/kaoru.kawasaki.92](https://www.facebook.com/kaoru.kawasaki.92)

[twitter.com/djkawasaki](https://twitter.com/djkawasaki)

[soundcloud.com/kaoru-kawasaki-1](https://soundcloud.com/kaoru-kawasaki-1)



#### blanc.

2003年、MONKEY MAJIKの活動の傍ら、サイドプロジェクトblanc.をスタート。FreeTEMPOの名曲「Sky High」の作詞、ヴォーカルを務める。2008年、1stアルバム『new world』をリリースし、2009年には2ndアルバム『canvas』をリリース。その後、数々のアーティストとのコラボレーションやDJ活動など、活躍の場を広げている。



#### Open Reel Ensemble

2009年より、和田永を中心に佐藤公俊、難波卓己、吉田悠、吉田匡が集まり活動開始。旧式のオープンリール式磁気録音機を現代のコンピュータとドッキングさせ、「楽器」として演奏するプロジェクト。リールの回転や動作を手やコンピュータで操作し、その場でテープに録音した音を用いながらアンサンブルで音楽を奏でる。その不思議な音色と楽曲性は高く評価され、国内、海外でのLIVEやCM音楽制作、楽曲のREMIXなども行い、メディアアートと音楽の双方からいま最も注目を集める存在である。2013年3月12日にはBOOK+DVD「回典 ~En-Cyclepedia~」を学研から出版。松岡正剛、大友良英、菊地成孔、宇川直宏、zAk、高木正勝など錚々たるメンバーとの対談をはじめ、現在のOpen Reel Ensembleをひも解く上で欠かせない内容の本となっている。ファッション界からも注目をされ、2012年秋冬のISSEY MIYAKEとのパリコレクションで音楽を3シーズン担当し、活動の場を広げている。



### i-dep

プロデューサー/ソングライター/DJとして、縦横無尽にジャンルを駆け巡るナカムラヒロシによるミュージックプロジェクト。ミレニアム期にロンドンにてi-depをスタート。屋敷豪太氏をはじめとする音楽人と交流を深め、Elen Nasciment氏らと楽曲を制作。イタリアIRMA recordsよりアナログ盤として発表されたそれらの音源が国内外の早耳らより高く評価された。帰国後、ストリートミュージシャンなどにナカムラ自ら声をかけてまわり、バンドとしてのi-dep態勢を築いた。2009年にバンドを解散して以降、再びナカムラヒロシ個人によるプロジェクトとして活動を行っている。主催フェスfesta de i-depやSUMMER SONICをはじめとする国内大型フェスでのライブに加え、South By Southwest(SXSW)におけるパフォーマンスもアメリカ/ヨーロッパの業界関係者から好評を博しており、リリース作品のみならずライブ活動でも既存の枠にとらわれない自由でグローバルな活動を標榜している。



### 高木正勝

自ら撮影した映像の加工やアニメーションによる映像制作と、長く親しんでいるピアノやコンピュータを使った音楽制作の両方を手掛けるアーティスト。国内外のレーベルからのCD やDVD リリース、美術館での展覧会や世界各地でのコンサートなど、分野に限定されない多様な活動を展開している。

オリジナル作品制作だけでなく、デヴィッド・シルヴィアンのワールドツアーへの参加、UA やYUKIのミュージック・ビデオの演出や、芸術人類学研究所、理化学研究所、Audi、NOKIA との共同制作など、コラボレーション作品も多数。

2009年のNewsweek 日本版で、「世界が尊敬する日本人100人」の1人に選ばれるなど、世界的な注目を集めるアーティスト。



### 蓮沼執太

1983年東京都生まれ。音楽作品のリリース、蓮沼執太フィル/チームを組織して国内外でのコンサート公演、コミッションワーク、映画、広告、舞台芸術、プロデュース、他ジャンルとのコラボレーションを多数制作する。アルバムに 蓮沼執太フィル『時が奏でる | Time plays - and so dowe.』、4枚組CD『CC OO | シーシーウー』など。近年の公演に『作曲：ニューフィル』（2014年 神奈川芸術劇場ホール）、『Music Today on Fluxus 蓮沼執太vs塩見允枝子』（2013年 国立国際美術館）など。主な個展に『have a go at flying from music part 3』（2011年 ブルームバーグ・パヴィリオン | 東京都現代美術館）、『音的 | soundlike』（2013年 アサヒ・アートスクエア）、『音的→神戸 | soundlike2』（2013年神戸アートビレッジセンター）、『無焦点 | unfocused』（2014年NADiff Gallery）。著書に『音楽からとんでみる』。  
[www.shutahasunuma.com](http://www.shutahasunuma.com)





### コトリンゴ

5歳からピアノ、7歳から作曲をはじめ。神戸・甲陽音楽院 を卒業後、ボストン・バークリー音楽院に留学し、ジャズ作曲科、パフォーマンス科を専攻。

学位を取得後にはニューヨークを拠点に演奏活動を開始。2006年に坂本龍一に見出され、シングル『こんにちは またあした』で日本デビューを飾る。以降、現在までにカバーアルバム、ミニアルバム、バンド名義のアルバムを含む、9枚のアルバムを発表。

ソロ作品のほか、「新しい靴を買わなくちゃ」「くまのがっこう」など映画のサウンド・トラックや多数のCM音楽を手がけるなど、クリエイターからの支持も高い。近年はキリンジに加入し、バンド活動も行う。最新アルバムはドラマ「明日、ママがいない」の主題歌「誰か私を」を収録の『birdcore!』。卓越したピアノ演奏と柔らかな歌声で浮遊感に満ちたポップ・ワールドを描きだす女性シンガー・ソングライターとして各方面から注目を浴びている。

---